

令和 2 年度岡山県医療介護総合確保基金事業

「死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた
要介護高齢者の尊厳を最期まで守る
多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業」
実施報告書

2021 年 3 月
岡山大学病院

目 次

実施内容

1. 事業概要	1
2. 実績内容	5
資料1 広報用チラシ 第1回オンラインセミナー	11
資料2 市民向け広報リーフレット	13

令和２年度岡山県医療介護総合確保基金事業
「死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を
最期まで守る多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業」
実施報告書

I 事業実施期間 令和２年４月２０日から令和３年３月３１日

II 事業費 3,044,580 円

II 事業内容

【概要】

高齢者が住み慣れた地域で、最期まで自分らしく暮らすためには、自分の口から食べ続けることが重要な要件となる。最近では、フレイルや認知症の進行抑制のためにも、口腔からの栄養摂取の重要性が強調されている。これを実現するには、ライフステージに応じた、食行動、口腔機能（咀嚼）、咽頭機能（嚥下）、食環境の正しい評価に基づく多面的な議論が必要である。そのために、医療、福祉、介護、生活に関わる多職種によるミールラウンドやそれに基づくカンファレンスが必要とされ、食形態の調整を含めた口腔栄養関連サービスとして介護保険にも導入された。我々は、平成２７年度から５年間、岡山県下医療圏の口腔栄養関連サービス実務者に対して、食介護に関するセミナーやミールラウンドを模したワークショップを実施、この多職種連携カンファレンスの必要性を啓発し、ミールラウンドを地域に根付かせる活動が続けてきた。幸い、本ワークショップは、現場で苦悩し足踏みをしていた多職種が会い交えるまたとない機会を提供し、地域レベルの多職種連携を推進する足がかりとなった。このワークショップで議論する内容は、栄養摂取という問題を超えて、自分らしい死のあり方にまで及ぶことが多々ある。胃瘻を含めた「人工栄養の意思決定プロセスガイドライン（日本老年医学会、２０１２）」にあるように、栄養摂取のあり方の議論は、死のあり方そのものである。最近では、自分らしい死のあり方をあらかじめ表明する機会を提供する人生会議（アドバンスケアプランニング、ACP）が注目され、医師・歯科医師を含めた栄養関連職種が現場でどのように対応するか、さらにはそれをどのように国民に伝えていくかが問われており、本継続事業では、地域包括ケアの現場で、死生学や ACP にまで踏み込んだ口腔栄養関連サービスの提供ができる実務者の養成を目指した。しかしながら本年度は、この事業の対象者が現在進行形で活躍中の医療介護従事者であるため、コロナ禍において対面型の講演会やワークショップの開催は断念せざるを得なかった。そこで今回は登録制で公開するオンラインセミナーとしてこの事業を継続し、多職種連携を行う上での知識や技術、態度を勉強する人材養成セミナーを実施した。

【目標】

本事業では、介護保険施設、在宅における医科、歯科と栄養関連職種の連携を行う上で必要な知識や技術、態度を教育する人材養成セミナーを、岡山大学病院と地域医療圏の歯科医師会、栄養士会等が中心になって各医療圏において実施する。これにより、地域包括ケアの現場で口腔栄養関連サービスと死生学を統合したミールラウンドに基づく多職種連携カンファレンスが岡山県で確実に実施されるような体制を確立する。

【事業内容】

死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた口腔栄養関連サービスの生涯教育システムを構築し、フレイルや要支援・要介護状態における包括的な栄養関連職種の連携を行う上で必要な知識や技術を教育する人材養成セミナーを開催する。具体的には、医師、歯科医師、管理栄養士、歯科衛生士、介護福祉関係者などに対して高齢者の低栄養を防ぐための知識や技術を習得させるためのオンラインセミナーを1回開催した。

【結果】

本事業では、オンラインセミナーにおいて3つの特別講演を実施し、584名の実務者が参加した。

【事業担当者名簿】

事業責任者

窪木拓男 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 教授

事業担当者

縄稚久美子 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 助教

水口真実 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 医員

前田あずさ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 助教

スタッフ

前川賢治 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 准教授

水口 一 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 講師

秋山謙太郎 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 講師

三野卓哉 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 助教

三木春奈 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 助教

中川晋輔 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 助教

小山絵理 岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 医員

樋口隆晴 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生

田仲由希恵 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生

大森 江 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生

田頭龍二 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生

黄野頂策 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生
石橋 啓 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 大学院生

事業協力者

菊谷 武 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長
戸原 雄 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 医長
田代晴基 日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科 臨床講師
佐川敬一郎 日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科 助教
中村幸伸 つばさクリニック 理事長，岡山大学医学部 臨床教授
日笠晴香 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 講師
石垣靖子 北海道医療大学 名誉教授

主催

岡山県，岡山大学病院，岡山大学歯学部

後援

岡山県医師会，岡山プライマリ・ケア学会，岡山県歯科医師会，岡山県看護協会，
岡山県栄養士会，岡山県歯科衛生士会，岡山県言語聴覚士会，岡山県介護支援専門員協会，
岡山市歯科医師会，日本老年歯科医学会岡山支部，日本在宅栄養管理学会

セミナー事務局

岡山大学病院 歯科・口腔インプラント科部門 縄稚久美子，水口真実，前田あずさ
〒700-8525 岡山市北区鹿田町 2-5-1

実績内容 1 第1回オンラインセミナー

【学術講演会】

特別講演 1 「食べる楽しみを支える在宅医療」

中村 幸伸 先生（つばさクリニック 理事長，岡山大学医学部 臨床教授）

特別講演 2 「いのちの源としての口腔を護る」

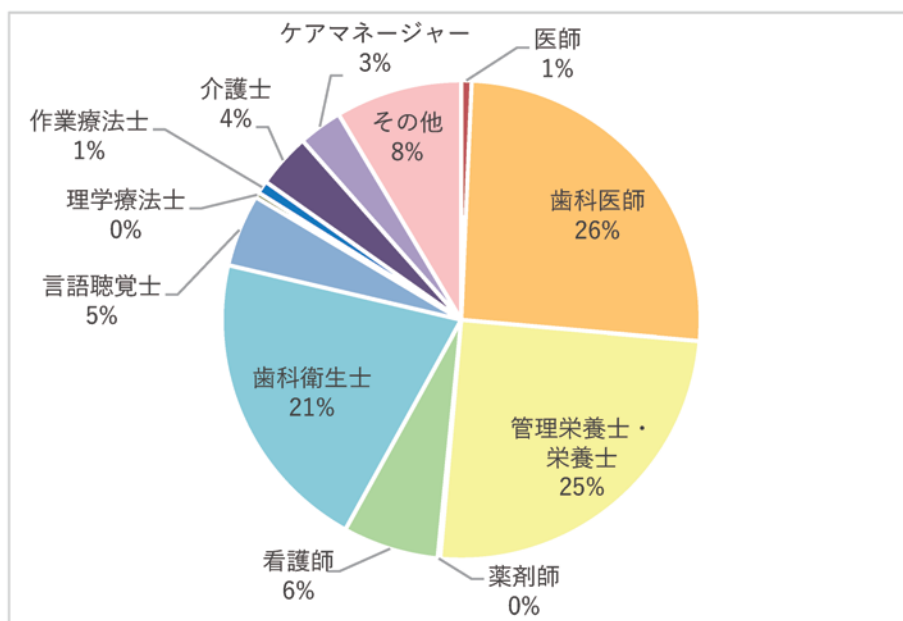
石垣 靖子 先生（北海道医療大学 名誉教授）

特別講演 3 「人生の総仕上げに立ち会う～達成感のある看取りへの手助け～」

菊谷 武 先生（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長）

参加者：584 名（2021 年 3 月 22 日）

内 訳：医師 4 名，歯科医師 147 名，管理栄養士/栄養士 143 名，薬剤師 1 名，看護師 37 名，
歯科衛生士 118 名，言語聴覚士 28 名，理学療法士 2 名，作業療法士 5 名，介護士
21 名，ケアマネージャー 17 名，その他 49 名，不明 12 名



本事業において例年好評価を得ていた多職種連携ワークショップであるが，参加対象者が現役の医療人としてご活躍であるため，対面型の講演会やセミナーを開催することはコロナ禍において難しく開催ができなかった．そこで令和 2 年度の本事業はオンラインセミナーとして開催することとした．第 1 回オンラインセミナーは，好評であった第 11 回公開セミナーの学術講演会の内容を，登録制で公開することにした．過去の本事業参加者の登録情報は，事務局で仮登録をすませ，スムーズな視聴ができるよう工夫した．

例年行っている講演会は，日曜日など休日に行うことが多かった．この際，参加者は業務として参加する場合には，繁忙である勤務日に代休を取るなどの就労上の対応をとる必要があり，参加を見合わせた者も多数あった．この度はオンラインセミナーをオンデマンド形式で提供することができたため，これまで参加ができなかった者も含めて多くの参加者

が自分の自由な時間を使って、情報を得ることができた。これにより、県下の医療機関に広く口腔栄養関連サービスに関する情報を提供できたことは非常に大きな成果と考えられた。今後も、関係団体の会員に向けてチラシを配布し、本オンラインセミナーへの参加を促して行く予定であり、登録者は継続的に増加していくことが推測される。また、本年度、オンラインセミナーのためのインフラを構築することができたため、このインフラを利用して、第2回、第3回のオンラインセミナーを実施することも容易であるとする。

一方で、多職種が集まって議論するワークショップに関しては、コロナ禍のために実施を見合わせるしかなかった。このワークショップは、要介護者が実際に食事をしている現場を観察（ミールラウンド）することによって得られる情報を多職種で共有し、それを基に他方面から最善の対応策を議論するという代えがたい教育効果がある。コロナ禍がこのまま続く場合には、この少人数教育も電子化する方策をとらなければならないかもしれない。このような電子ツールを用いた遠隔多職種連携カンファレンスを試行する努力は、もしかすると、逆説的ではあるが、地域における電子ツールを用いた遠隔カンファレンスのトライアルとなる可能性もあり、災い転じて福と成すという気概で取り組む必要もあるだろう。とは言え、やはり、新型コロナウイルス感染症が収束し、要介護者のために、再び皆が参集して、最善の方策を議論できる時が来ることを強く願わずにはおれない。

【オンラインセミナー視聴方法】

1. 本事業トップページ (<http://www.okayama-u.ac.jp/user/food/>) にオンラインセミナーの入り口を設けた。

死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた
要介護高齢者の尊厳を最期まで守る
多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業

岡山大学病院
NPO

TOP | 事業概要 | プログラム | 参加登録 | ワークショップ | セミナー会場 | セミナー情報 | 事業報告 | お問い合わせ

食えること、生きること

令和2年度第1回オンラインセミナー (プログラムPDF)

- 特別講演1「食への楽しみを支える在宅医療」
中村 幸孝 先生 (つばきクリニック理事長、岡山大学医学部臨床教授)
- 特別講演2「いのちの輝きとしての口を噛む」
西川 以子 先生 (北海道医療大学名誉教授)
- 特別講演3「人々の社会生活に立ち寄り、適切なケアと支援への挑戦」
石井 貴 先生 (日本医科大学口腔リハビリテーション学専攻リハビリテーション学)

※ 講演内容、時間、地名などはおおよそ (2020年1月12日) のものです

オンラインセミナーはこちら

NEWS & TOPICS

- 2020.01.10 第11回研修会を開催
- 2019.12.25 第11回・第12回参加登録開始
- 2019.12.25 第11回・第12回プログラム掲載
- 2019.08.14 平成30年度事業報告会を開催
- 2018.11.20 第10回の会場登録を開始
- 2018.10.31 第10回のセミナー会場を更新
- 2018.09.05 第9・10回の参加登録を開始
- 2018.08.31 第9・10回プログラムを掲載
- 2018.08.31 第9・10回セミナー会場を掲載

LINKS

いつでもおいしく
食べるために

おかやまDMネット
岡山県糖尿病連携ネットワーク

岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

岡山大学 歯学部
Okayama University School of Dentistry

岡山大学大学院 医療科学部総合研究科
イノベーション推進センター

岡山大学
Okayama University

岡山大学大学院 医療科学部総合研究科
イノベーション推進センター

TOP | 事業概要 | プログラム | 参加登録 | ワークショップ | セミナー会場 | セミナー情報 | 事業報告 | お問い合わせ

◆セミナー事務局:
岡山大学病院
歯科・口腔インプラント科部門
FAX: 086-235-6684
m-minakuchi@cc.okayama-u.ac.jp
お問合せはメール、FAXでお問い合わせ

この事業は岡山県医療介護総合確保基金事業により実施されています
Copyright (C) 2016 Okayama University All Rights Reserved

2. 本事業ホームページが岡山大学の中に開設されている都合上、岡山大学職員は岡大IDでの認証システムでログインすることになるので「岡大統合認証」と「岡大以外」の2つのログインボタンを設ける必要があった。

死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた
要介護高齢者の尊厳を最期まで守る
多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業

岡山大学病院
NPO

この先へのログインは必ずこの目的外使用禁止契約に同意することを承認していただいたとみなされます。
Regarding the prohibition of unauthorized use of e-learning class videos.

AGREE

岡大統合認証

岡大以外の方

3. 「岡大統合認証」または「岡大以外」を選択すると、登録済みのものはログインページを経由して4.の視聴画面に移行するが、新規登録のものは以下の新規登録画面が表示される。

多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業
ワークショップ

岡山大学

参加登録フォーム (一般)

※ EMail address

※ パスワード(5文字以上)

※ 氏名

※ 氏名(ふりがな)

※ 所属

※ 職種

※ 職種(その他を選択した場合のみ記載)

※ 性別

※ 電話番号

※ 口腔栄養関連サービスに関するワークショップに参加したことがある

※ 口腔栄養関連サービスを実践に行ったことがある

※ 参加予定プログラム

オンラインセミナー

すべての項目をご入力ください。

送信

上記内容をよく確認して送信してください。

4. 視聴したい講義を選び、再生を押すと講義が始まる。〔視聴時間を保存してビデオを終了する〕を押すと視聴時間を記録でき、続きから視聴を開始することが可能である。

死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた
要介護高齢者の尊厳を最後まで守る多職種連携
口腔栄養関連サービスの推進事業第11回公開セミナー

講演1
つばさクリニック
中村 幸伸 先生

食の楽しみを支える在宅医療

令和2年1月12日
岡山県委託事業「死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を最後まで守る多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業」公開セミナー

つばさクリニック 中村幸伸

2020年1月12日 収録

※転載・ブラウザの戻る/更新ボタン禁止

🔴 視聴時間を保存してビデオを終了する

🔴 視聴時間を保存する

食の楽しみを支える在宅医療
つばさクリニック 中村幸伸先生
※講演内容、所属、職名などは収録時(2020年1月12日)のものです

視聴時間は1分以下を切り捨てて記録します。

5. 講義を視聴し終わったら小テストが表示される。視聴者は問題に解答し3問中2問正解したら合格となる。引き続き2つの講義を視聴する。

6. 3つの講義動画を視聴し小テストを全て合格したら修了証が表示され、希望があれば各自印刷することもできる。



実績内容 2 市民向け広報リーフレット

本事業において作成された「いつまでもおいしく食べるために」のリーフレットであるが、関連各団体がコロナ禍で軒並み対面型のセミナーを中止せざるを得ない状況であったため、配布の機会が減少した。その中で対面型のイベントは減ったものの非接触で有益な情報提供ができるリーフレットの利点に着目してくださった団体もあり、以下の高齢者支援センターにおいて地域住民への配布用に提供した（合計 2000 枚）。

- ・ 玉島東高齢者支援センター（倉敷市玉島 750-1） 200 枚
- ・ 玉島中部高齢者支援センター（倉敷市玉島中央町 1-4-8） 500 枚
- ・ 玉島南高齢者支援センター（倉敷市玉島勇崎 1044-3） 200 枚
- ・ 玉島北高齢者支援センター（倉敷市玉島陶 856-1） 700 枚
- ・ 船穂高齢者支援センター（倉敷市船穂町船穂 1861-1） 200 枚
- ・ 真備高齢者支援センター（倉敷市真備町箭田 2159） 200 枚

総括

今回、新型コロナウイルス感染症という未曾有の状況下において、本事業で好評をいただいている対面型の多職種連携ワークショップを開催することは、参加対象者が現役の医療介護従事者であるがゆえに大変困難であった。苦渋の決断ではあったがオンラインセミナーに切り替えることとし、視聴するだけではなく視聴後に小テストを課し修了証を表示、各自印刷できるという目標達成感のある教育システムを構築することができた。新型コロナウイルス感染症の状況についてはまだ予測不明なところが多い中、この教育システムであれば効率よく岡山県内に食支援の実務者が育成され则认为。また、市民向け広報リーフレットについて、当初対面型の集団への教育資料として作成されたが、現在の非接触型、低接触型の保健指導等にも使用出来る可能性が示唆されたのはコロナ禍ならではの発見であった。引き続きこの事業を継続するにあたり新たな教育方法を検討していく必要がある。

第1回オンラインセミナー

オンデマンド配信

食べること、 生きること

参加無料
事前登録制

令和2年度岡山市委託事業「死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を最期まで守る多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業」公開セミナー

登録開始日

2021年3月22日 月 12:00～



学術講演会

好評であった第11回公開セミナー(2020年1月12日)の学術講演会の内容を視聴できます。

特別講演 1

「食べる楽しみを支える在宅医療」

中村 幸伸 先生 つばさクリニック 理事長 岡山大学医学部 臨床教授

特別講演 2

「いのちの源としての口腔を護る」

石垣 靖子 先生 北海道医療大学 名誉教授

特別講演 3

「人生の総仕上げに立ち会う～達成感のある看取りへの手助け～」

菊谷 武 先生 日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

対象

地域・在宅高齢者の食
を支える全ての医療、
介護スタッフ及び学生

※食介護にお困りの市
民の方もぜひ御参加
ください

主催：岡山市、岡山大学病院、岡山大学歯学部
後援：岡山県医師会、岡山プライマリ・ケア学会、岡山県歯科医師会、岡山県看護協会、岡山県栄養士会、岡山県歯科技術士会、
岡山県言語聴覚士会、岡山県介護支援専門員協会、岡山市歯科医師会、日本老年歯科医学会岡山支部、日本在宅栄養管理学会

※本セミナーの一部は、岡山県委託事業「死生学とアドバンスケアプランニングを取り入れた要介護高齢者の尊厳を最期まで守る多職種連携口腔栄養関連サービスの推進事業」により実施されています。

セミナー事務局

岡山大学病院歯科・口腔インプラント科部門
窪木 拓男(事業責任者)、編椎 久美子、水口 真実、前田あずさ(事業担当者)

TEL : 086-235-6684

E-mail : m-minakuchi@cc.okayama-u.ac.jp



事前登録 URL はこちら <http://www.okayama-u.ac.jp/user/food/>

食えること、生きること

スマホ、PCから
簡単に視聴できます！



オンラインセミナー視聴方法のご案内

STEP 1

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/food/> のトップページよりオンラインセミナーにお入りください。

スマートフォンからは
こちらのQRコードからでも
アクセスできます。



STEP 2

岡大統合認証(岡大職員用)
または岡大以外を選択。



新規登録画面が表示
されますので入力
いただきましたら登録
完了です。



STEP 3

視聴したい講義を選び、再生を押すと講義が始まります。視聴時間を記録
しておりますので途中でやめるときには必ず「視聴時間を保存してビデオ
を終了する」を押してください。続きから視聴を開始することが可能です。



STEP 4

講演を視聴し終わったら小テストが表示されますので問題を解いてください。
3問中2問正解したら合格となります。引き続き2つの講演を視聴してくだ
さい。



STEP 5

3つの講演動画を視聴し小テストに全て合格したら修了証が表示されます。



いつまでもおいしく **食べる** ために 知っておきたいこと



普段私たちは、当たり前、口から食べて、味わい、それを飲みこんで栄養をとっています。高齢になると、体のいろいろな機能が低下します。嚙んだり飲みこんだりする、いわゆる“食べる”機能も低下し、当たり前、食べることが難しくなることがあります。

いつまでもおいしく、安全に、楽しく“食べる”ために、知ってほしいことがあります。



1

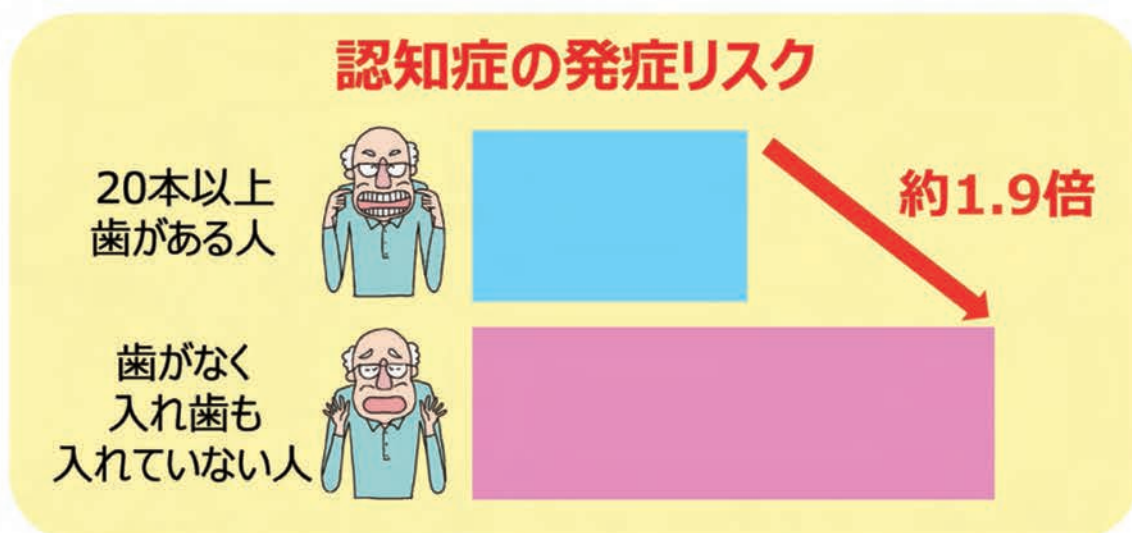
元気で生活するために、 口から食べることはとても大切です



- ✓ 食べ物を目でとらえ、においをかぎ、手を使って口へ運び、歯で噛み、味わい、飲みこむことで、多くの情報を脳に伝えます
- ✓ 噛むことで唾液が出て、口を清潔にたもちます
- ✓ 満足感や喜びを感じます
- ✓ 会話がはずみます（社会参加）

認知症の予防につながります！

最近の研究で、歯がなく入れ歯も入れていない人では、20本以上歯がある人に比べて、認知症の発症リスクが、約1.9倍高いことが、わかっています。

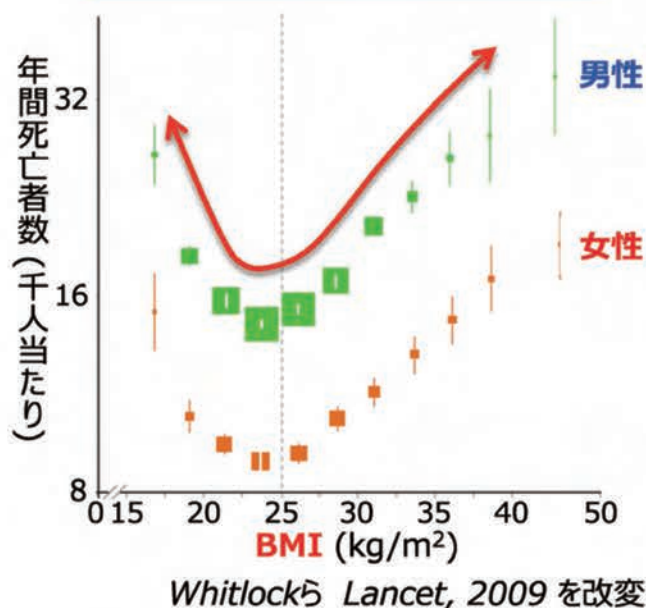


歯がなくて、満足に噛めないと、認知症のリスクを下げる食べ物（野菜や豆など）が苦手になりがちです。何でもバランスよく食べることは、認知症の発症を予防すると考えられています。



2 年をとったら「やせすぎ」は危険！

BMIと死亡率の関係



BMIというのは、皆さんの肥満度を表す体格指数です。太りすぎると糖尿病、高血圧、がんなど様々な病気にかかるリスクが上昇しますが、**やせ過ぎて死亡率が上がる**ことがわかっています。

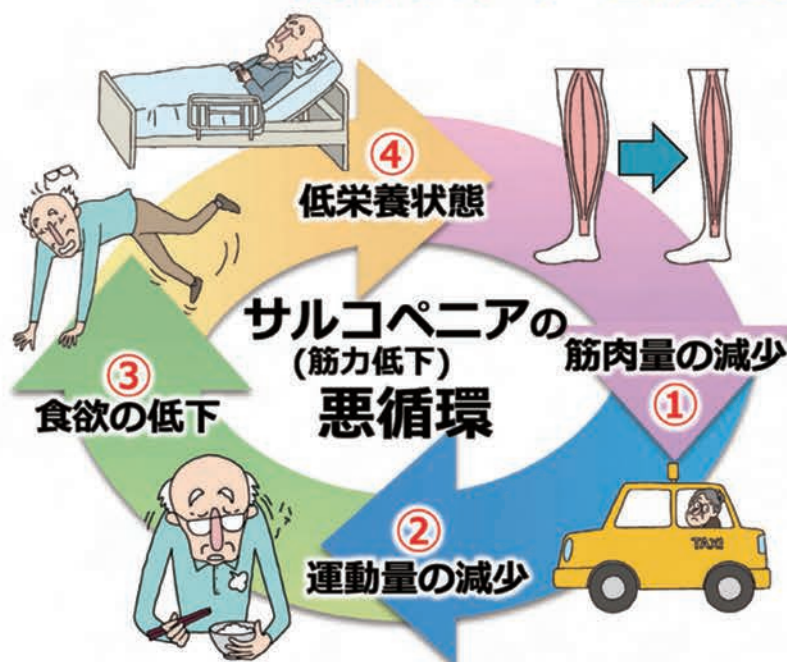
自分や家族の体重(BMI)を測りましょう！

BMI=体重(kg)÷〔身長(m)×身長(m)〕

【例】体重45kg, 身長155cmの場合

⇒45÷(1.55×1.55)=**BMI: 18.7**

筋肉のやせが良くない！



加齢や病気にもなう筋力の低下を**サルコペニア**と言います。①筋肉が減ると②運動量が減り、③**食欲が低下**しますので、④**低栄養状態**となり、サルコペニアの悪循環が起こります。

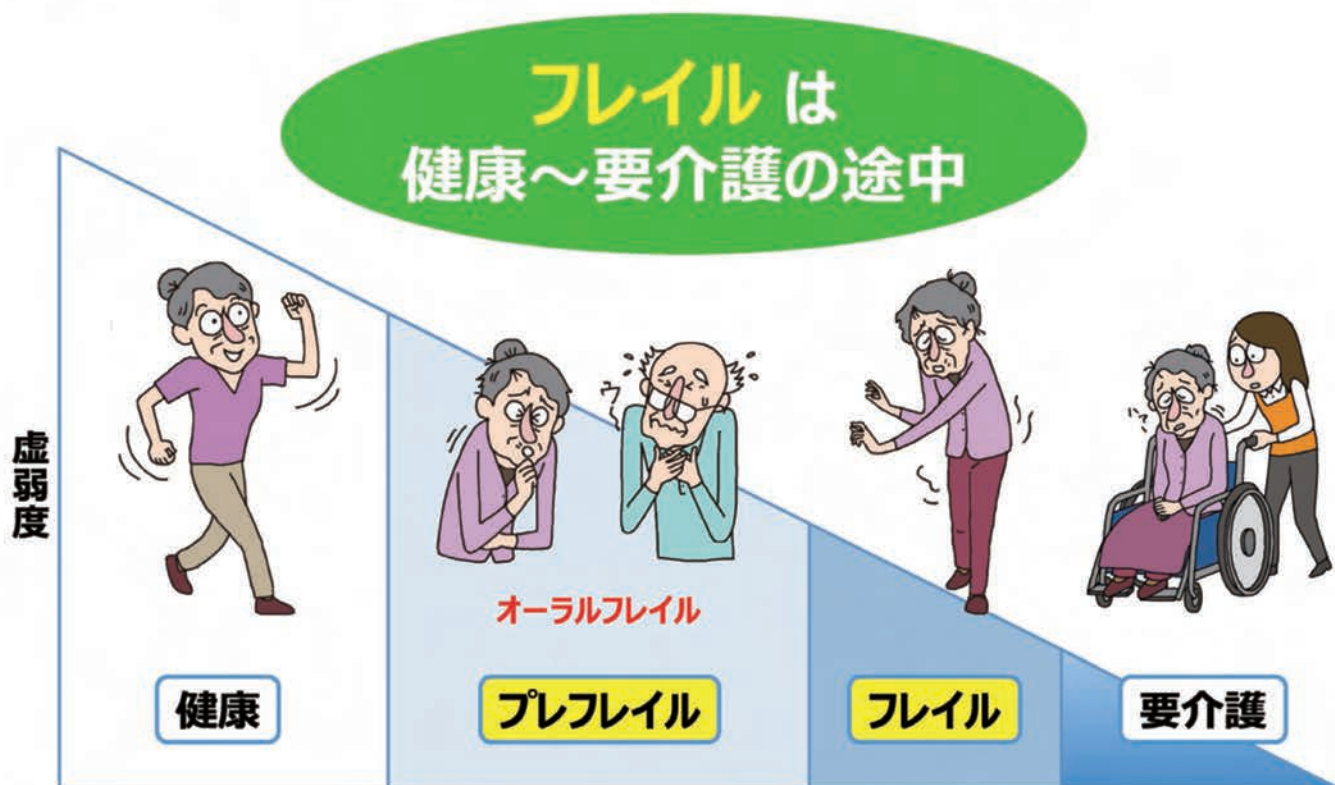
サルコペニアを予防するには、適度な運動と**バランスのとれた食事**、生活習慣の見直し、積極的な社会活動への参加、慢性疾患の管理を行い、心身の健康を維持することが大切です。



栄養のバランスのとれた、十分な量の食事を美味しく楽しむために、歯の調子を整えましょう！

3 からだの機能が低下する「フレイル」

フレイルとは、健康な状態から要介護状態になる途中で、知らず知らずのうちに、徐々に様々な機能が低下している状態です。必要な栄養がとれず低栄養になったり、食べたり飲みこんだりする機能にあっていない食事を取り続けていたために、病状が悪化することが予想されます。



東京大学高齢社会総合研究機構・飯島勝矢 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業) 虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究(H26年度報告書より)を改変

◆◆セルフチェックしてみましょう◆◆

- ☐ 体重減少：1年間で**4.5kg**または**5%**以上減った
 - ☐ 疲れやすくなった
 - ☐ 歩く速度の低下
 - ☐ 握力の低下
 - ☐ 身体活動量の低下
- ☒ 3つ以上 ⇒ **フレイル**
☒ 2つまで ⇒ **プレフレイル**の疑い

4

口の機能も低下します

フレイルの手前にあるプレフレイルにおいて、口の機能が低下する「**オーラルフレイル**」の症状が現れ、**老化のはじまりを示すサイン**として注目されるようになってきました。口の機能が低下すると、食べることに支障が生じます。

オーラルフレイル

こんな兆候があれば要注意！

- ☑ 滑舌の低下
- ☑ たべこぼしがある
- ☑ わずかのむせ
- ☑ 噛めない食品の増加



口のトラブル

歯周病
むし歯
入れ歯の不調
など



噛めない

噛む機能の
低下

やわらかい
食事



低栄養になり
フレイルが進行

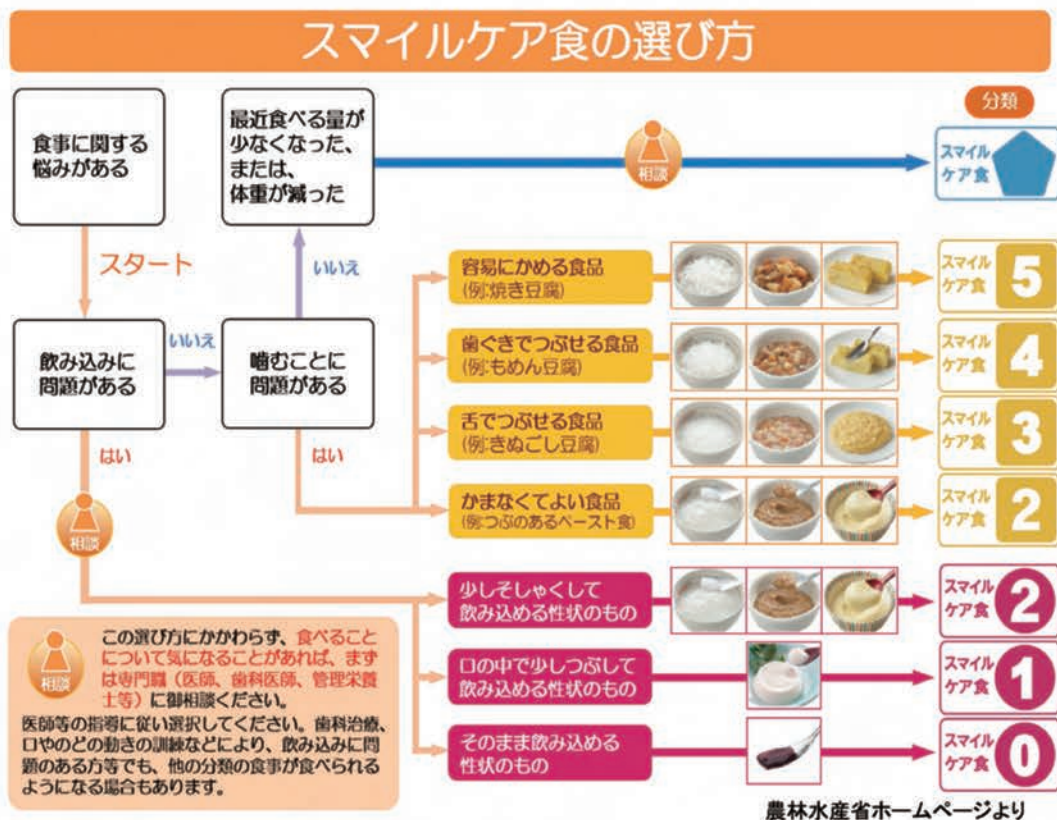
口の機能の低下に早めに気づき、適切な対応をとることで、フレイルやその後続く要介護状態に陥るのを防ぎましょう。

家族が認知症になったら、まず歯科へ行きましょう！

認知症になると、口のお手入れが自分では難しくなったり、症状を正確に訴えられなくて重症化することがあります。また誤嚥性肺炎などの全身の病気を予防するためにも、認知症が進行して治療が難しくなる前に、口の中を整備しておくことがとても大切です。

5 機能にあった食事を選びましょう

食事の量が減った方には能率よく！食べる機能が低下した方には安全に！栄養を摂って元気になる工夫がされている介護食品がたくさんあります。購入時にわかりやすく便利な新しい分類（スマイルケア食）ができました。



6 おかしいと思ったら・・・ 私たちに相談してください

たくさんの専門家がチームになって、安全に楽しく「食べる」ことを支えます。まずは身近な人に相談してください。



平成29年度岡山県医療介護総合確保基金事業
「要介護高齢者の低栄養を防ぐための医師・歯科医師と管理栄養士による口腔栄養関連サービス推進事業」
監修: 岡山大学病院クラウンブリッジ補綴科 窪木拓男、縄稚久美子、水口真実、前田あずさ